

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回川島町地域公共交通会議	
開 催 日 時	令和2年11月19日（木）午後3時30分から16時30分	
開 催 場 所	川島町役場 多目的室	
議 題	(1) 元気なバス需要創出モデル事業（東武バス川島町役場線）について (2) かわみんタクシーについて (3) その他	
公開・非公開の別	公 開（傍聴者1名） ・ 非公開 ・ 一部非公開	
非公開の理由 （非公開の場合のみ）		
出席者	委 員	久保田委員、石島委員、瀬間委員、飯島委員、斉藤（昇）委員、斉藤（光）委員、関根委員、藤田委員、小川委員、伊藤委員、島村委員、唐木田委員（代理）、岡部委員、江間委員、坂本委員
	事務局職員	政策推進課 藤間課長、友野主幹、喜多川主査、品川主任
	関係者	東武バスウエスト(株) 山科氏
配布資料	会議次第、資料1～4、参考資料	
審議会等の内容・概要		
1 開 会 （事務局より会議の開会にあたり、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。なお、会議公開は議事より行うことし、会議録を公開するが、発言委員名は記載しない旨で委員より了承を得る。） 2 会長あいさつ 3 議 事 会 長：議事に入る前に、議事録署名委員を指名する。山崎委員、関根委員にお願いする。また、設置要綱第5条7項により、議事関係者として東武バスウエスト(株)運輸統		

括部 山科氏が出席している。

(1) 元気なバス需要創出モデル事業（東武バス川島町役場線）について

（事務局にて資料 1、2 を用いて説明）

委員：今回の検討で対象になる範囲は八幡団地－川島町役場間か。それとも若葉駅－川島町役場間か。

事務局：若葉駅－川島町役場間である。

会長：新型コロナウイルス感染症の流行状況が懸念されるが、説明のとおり令和 3 年 1～6 月の数値で判断するのか。

事務局：測定後、その後の対応の検討期間を考慮すると、この期間とする必要がある。しかし、会長のご指摘のとおり、流行により人の移動が大きく制限されるような状況になった場合は、改めて地域公共交通会議を開催して協議する。

委員：資料を見ると、本事業にて新たに設置した区間より、従来の八幡団地－若葉駅間の利用者数減少が大きい。現状をどのように把握していて、今後の見通しについてどのように考えているか。

委員：当社路線全体として、新型コロナウイルス感染症の影響により約 5 割の減少となった。その後、6～7 割程度には回復したが、日々の感染状況による増減が激しい。今後も大きく改善する見通しはないと考えている。

委員：7～8 月に利用状況が改善し、8 月に再び下降しているが、これは学生利用の影響か。

委員：本路線に限った影響ではなく、当社の路線全体で同様の傾向となっている。8 月の盆休み期間の外出自粛が影響しているのではないか。

委員：本路線の利用促進施策として、何か良いアイデアはないか。

委員：本路線の特徴を考えると、産業団地の利用者は獲得することが望ましいと考える。

会長：本日提示された指標等については、当会議として了承することとする。一方で、新型コロナウイルス感染症の流行状況によって指標等を見直す必要があれば、改めて会議を開催して協議する。

(2) かわみんタクシーについて

（事務局にて資料 3、4 を用いて説明）

会 長：運行内容変更の詳細は、今後分科会で議論するとのことだが、現段階で意見等はあるか。

委 員：感染症対策についてはどのように対応しているか。また、高齢者の利用が多い中で、どのような安全対策を行っているかご教示いただきたい。

委 員：運転手の検温及び車内消毒・喚起を徹底している。高齢者の安全確保については、利用者に寄り添った対応を心がけている。

委 員：安全対策という意味では、川島タクシーはユニバーサルデザインタクシーを導入し、導入前研修も行っている。

委 員：運転手の感染報告が増えている。引き続き、感染症対策は徹底していただきたい。また、高齢者等の安全対策は事前の声掛けが重要である。この点についても、運転手への研修等を引き続きお願いしたい。

事務局：本事業の本格運行開始から4年が経過することや、今後も引き続き、利用者が増加していくことが想定されることから、感染症対策や安全対策の現地確認を行いたい。事務局が川島タクシーを訪問し、対応方法等を確認する。

会 長：利用者の多い事業なので、確認はぜひお願いしたい。

会 長：本事業の運行内容変更について、資料の「A-1」の案は馴染まないとある。特段意見がないようなので、この時点で議論の対象からは外す。

事務局：利用者ヒアリングの中では、現在の利用料金は「安くて助かっている」という声が多く、「安くて（町に）申し訳ない」という意見も散見された。現状で高いと感じている方はいなかった。この辺りも今後の検討における参考としたい。

会 長：先ほどの説明で、相乗りに対する考え方が緩和されてきたとのことなので、本事業においてもぜひ促進を図っていききたい。相乗りの促進は当初からこの会議における課題となっている。

事務局：相乗りの促進についても、分科会で議論したい。

会 長：相乗りについては、高校生の利用も促進したいと考えてきた。高校生の利用状況はいかがか。

事務局：確認できていない。

委 員：高校生を持つ知り合いに聞いても利用はしていない。事業自体を知らない方が多い。

事務局：前回の会議で、若い世代の認知度について知りたいという意見があった。現在

策定中の総合振興計画に関するアンケートにおいて、かわみんタクシーの認知度について設問したところ、認知度は高くなかった。年代別の認知度についても分析できるので、参考資料として次回提示したい。

委員：町内の高校生は自転車利用が定着していることも、タクシー利用が進まない要因である。

会長：資料の「D」において自治体予算以外の事業費について記載されているが、かなりチャレンジ要素が強い。

事務局：現在は、自治体予算だけで各種事業を推進するのは難しい時代になってきている。このため、例えば、本事業で利用できる医療機関から協賛金を募るなどの検討は必要かもしれない。


会長：本日寄せられた意見を踏まえ、分科会で議論を進めていただきたい。

(3) その他

(埼玉県バス協会より参考資料を用いて情報提供)

委員：公共交通の利用促進について、参考資料を配付させていただいた。バス利用者の減少が続いている。ぜひバスを始めとした公共交通の利用を促進していただきたい。バス会社も感染症対策は十分に行っている。

4 閉 会

署 名	山崎俊明	
	関根 肇	